

「江別市小中一貫教育」☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

学 つなぎ つむぐ

EBETSU

☆☆☆☆☆☆☆☆ 「えべつ型コミュニティ・スクール」

令和5年12月19日

第31号

江別市教育委員会

総務課・学校教育課

子どもたちとともに防災学習を ～第一中学校区 えべつ型コミュニティ・スクール～

11月17日（金）に第一中の第2回学校運営委員会が開催され、学校運営委員の方々が学校の様子や課題等についての熟議をした後、体育館で生徒と一緒に防災学習に参加しました。避難所運営ゲーム北海道版(Doはぐ)を体験し、第一中が実際に避難所になったことを想定して避難所運営についての学習をしました。災害時の役割や動き方等について、地域の大人と中学生が共に考え、非常時に備えておくことはとても大切であり、今回の取組は大変有意義なものとなりました。



避難所運営ゲームに参加

第一中学校区小中合同挨拶運動 ～児童会と生徒会の交流～

10月19日（木）に、第一中、第一小、上江別小が合同で朝の挨拶運動を行いました。あいにくの雨天の中でしたが、児童会と生徒会の役員が中心となって登校する子どもたちに元気に挨拶をしていました。第一中学校区内の挨拶の輪を広げ、3校の一体感を高める取組となりました。



朝の小中合同挨拶運動

第一中学校区 PTA 合同研修会

～小中一貫教育の取組 中学校区PTAの連携・協働～



坂本 勤 先生の講演会

第一中、第一小、上江別小のPTA合同研修会が12月4日（月）に開催されました。ここ数年はコロナ禍で中止となっていた活動ですが、第一中学校区では以前から3つのPTAが一緒になり、子育てについて学んだり、交流したりしてきました。

今回は、「タマゴマンは中学生」シリーズの著書で有名な坂本 勤 先生をお招きし、「子どもの心を守る」というテーマの講演会を実施しました。坂本先生は、中学校国語科の先生として札幌市で勤務され、退職後に作家活動に入られた方です。当日は、教員時代の教え子との関わりをもとに、子どもの心に響く言葉かけや関わり方等

についてのお話をされました。講演会の後半には、参加された方々から感想がたくさん出され、温かい雰囲気での研修会となりました。

中学校区内のPTAが合同で研修や取組を進めることは、中学校区内の学校と保護者、保護者間の連携・協働を高め、今年度から本格的に取り組んでいる小中一貫教育の効果をより高めることにもつながります。

「15歳の春」に向けて～共に考える～ ～第三中学校区の先生と保護者が 新篠津高等養護学校を見学～

第三中学校区の小中一貫教育特別支援部会が企画して、小学校と中学校の先生方や保護者の方々を対象とした特別支援教育に関わる進路についての研修会「新篠津高等養護学校見学会」を実施しました。当日は、新篠津高等養護学校の先生から、特別支援学級に在籍する児童生徒の中学校卒業後の進路選択の可能性についてや、高等養護学校の教育内容等についてお話を伺いました。

中学校はもとより、小学校の保護者や先生方が早い段階から進路について考え、連携していくことは、子どもたちの将来にとってとてもよいことです。きっと参加した方々は、「15歳の春」において見通しを持つことができたのではないのでしょうか。



新篠津高等養護学校での研修会の様子

主体的に追究し、わかる喜びを実感できる子どもを育む ～北光小学校 江教研学校課題研究発表会～

12月1日（金）に、北光小で江別市教育研究会の学校課題研究発表会が開催されました。北光小では、「主体的に追究し、わかる喜びを実感できる子どもの育成」を研究主題とし、算数科における個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させながら、子どもたちの「できた！わかった！」という学ぶ喜びを実感できる授業づくりを進めてきました。

当日は、20名の子どもたちが一生懸命に学習に取り組む姿を約90名の市内・管内の先生方に参観していただきました。複式学級ならではの「わたり・ずらし」を取り入れた個に応じた指導や、対話を通じた協働的な学びの様子、ICTの効果的な活用の仕方等、他校の参考となる内容がたくさんある研究発表会となりました。

第三中学校区では、北光小の研究発表会に向けた複数回の研究授業を、第一小、いずみ野小、第三中の先生方が参観してきました。また、発表会当日は、授業参観・研究協議への参加だけでなく、司会・記録や受付、駐車場係等の業務も担当し、運営面への協力も行いました。

他にも、いずみ野小や第三中、第一小の石狩教育局による学校教育指導の際に、中学校区内の他校の先生方が参加し、児童生徒の実態把握や校内研究・授業改善の共通理解を進めていました。



北光小の研究発表会の授業参観と研究協議の様子



第一小の学校教育指導の様子